



第一礼拝次第

メッセージ：アドリアン・アルセ師
映像：郭永東牧師

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		会衆	
プレイズ	「心から」 「キリストの花嫁」	会衆	
聖書朗読	エレミヤ書33:3 (旧約聖書 p1240)	司会	
祈禱		司会	
賛美	7	会衆	
メッセージ	「知らざる大いなること」	牧師	
祈禱			
賛美	新生73	会衆	
献金			
報告		司会	
頌栄	新生672b	会衆	
祝禱		牧師	



第二礼拝次第

メッセージ：郭永東牧師 通訳：尹笑英姉
聖書：ヘブライ人への手紙8:1-6
(新約聖書 p409)
メッセージ：「契約の仲介者」
プレイズ：「心に感謝を持ちながら」
「その愛よりも」
賛美：新生586 新生279 新生672b



ファミリー礼拝

聖書：コヘレトの言葉7:15~22
メッセージ：「わからない今を生きる」

<巻頭言>

「祈る群れとなる」

牧師 渡真利彦文

先週週末に久しぶりに上京した。東京の様子はこれまでとは違って、これまで電車に乗ると大勢の人が乗車していたが、今回は多くはなかった。電車に乗っている人は携帯をそれぞれ熱心に見ることは変わらないが、すべての人がマスクをしていて、表情が見えなかった。

今回の上京は、多摩川キリスト教会の特別聖書講演会奉仕のためであった。コロナ禍の中での集会なので、迎える側もコロナ感染防止に十分留意し集会を行った。

多摩川教会から教わったことは、「教会は祈りの家である」ことである。今回の特別集会のために40日連続祈禱会をして備えたと聞いた。週報の表紙には諸集会が紹介されているが、多くは祈りを中心としていた。たとえば早天祈禱会・水曜祈禱会・聖書と祈りの集い・リバイバル祈禱会が毎週行われていた。ヨハネの福音書1-4章には主イエスと出会い、人々が変わられていく姿が描かれている。その中で主イエスは「私の父の家を商売の家としている」ことを怒り、神殿から商人を追い出した。父の家を祈りの家とすることを望まれたのである。

祈りは教会を建てあげる。神殿が祈りの家として清められた後、ファリサイ派のニコデモが救われ、神殿を整えていく働き人の一人として、主イエスが備えられたと想像することができる。私たちも祈る群れとして成長し、教会を建てあげる働き人になりたい。